

画像診断各賞 発表

「画像診断」賞を下記の通り謹んで発表いたします。

2024年年間特集のうち、企画が優れており、好評であった特集、連載をご企画、ご監修いただいた先生に、「画像診断」Best Invited Editor (The Best Invited Editor of the Year) 賞を贈らせていただきます。また、本誌実行編集委員会で、教育性の高い優れた論文として選ばれた論文に、「画像診断」MVP (The Most Valuable Paper of the Year) 賞を贈らせていただきます。

第21回「画像診断」Best Invited Editor 賞 受賞者

〈治療に役立つ腹部画像診断レポートのポイント〉

2024年6月号 (Vol.44 No.7) 特集企画

市川新太郎先生

浜松医科大学放射線診断学講座



受賞のメッセージ

この度は素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。これもひとえに素晴らしい原稿を執筆してくださった先生方のおかげです。心より感謝申し上げます。今回は私が勉強したい内容を企画として提案させていただきましたが、読者の皆様が知りたい内容とうまくリンクしてご評価いただけたのだと思います。皆様も勉強したい内容が色々あると思いますので、今後の特集のアイデアをシェアしていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

第30回「画像診断」MVP賞 受賞者論文および受賞者

「下部消化管」

2024年6月号 (Vol.44 No.7) 掲載

特集〈治療に役立つ腹部画像診断レポートのポイント〉

井上明星先生

滋賀医科大学放射線科医学講座

受賞のメッセージ



今回のテーマである大腸癌は、画像診断が治療に欠かせない common diseaseのひとつであるため、身の引き締まる思いでお引き受けしました。企画された市川新太郎先生から執筆内容に自由度を与えていただきましたので、結腸癌の手術で注意すべき血管破格に加えて、需要が高まってきている直腸癌のMRIで評価が求められる画像所見についても解説しました。また、外科学講座の三宅 亨先生にも加わっていただいたことで、治療する立場からの文脈を組み入れることができ、より良い内容になったと感じています。本論文にかかわってくださった皆様に感謝申し上げます。

「年齢，月経，妊娠出産歴から考える卵巣腫瘍」

2024年7月号 (Vol.44 No.8) 掲載

特集〈臨床所見から考える婦人科画像診断〉

坪山尚寛先生

大阪大学大学院医学系研究科放射線医学講座

受賞のメッセージ

この度は大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。この総説は、齋田 司先生の企画に沿って執筆させていただいたもので、企画の素晴らしさでほぼ完成していたようなところがあります。ちょうど私の職場異動と重なっていたため、1週間で一気に書き上げることができました。思いのまま筆を走らせたことが、逆に臨場感につながったのかもしれません。日頃からご協力いただいているすべての皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。



以上の先生方には賞状と賞金を授与いたします。

2025年4月吉日

株式会社 Gakken
代表取締役社長 南條 達也

Case of the Month 2024年 成績優秀者発表

いつもCase of the Monthにご回答いただきありがとうございます。『画像診断』編集委員会より、年間を通して正答率の高かった成績優秀者を発表いたします。

対象期間：2024年1月号～12月号

(2024年8月号は年間正解者数からは除外。)

-
- ◆11回正解 木口 貴雄先生(一宮西病院放射線診断科)
 - ◆10回正解 竹田 太郎先生(松波総合病院放射線診断科)
 - ◆10回正解 林 勇気先生(豊田厚生病院放射線診断科)
 - ◆10回正解 古田 寿宏先生(東京大学医科学研究所附属病院放射線科)
-

以上の先生方には、編集室より粗品を進呈いたします。おめでとうございます！